



【オリエンテーションと干潟調査】

令和5年5月13日（土）13:00-17:00

場所：南三陸町自然環境活用センター
折立海岸

スタッフ：南三陸ネイチャーセンター友の会
南三陸町自然環境活用センター
南三陸高校自然科学部
南三陸少年少女自然調査隊 OG



「いよいよ活動開始!？」

・今年も調査隊の活動がいよいよ始まりました。今年度の新メンバーは17名と多くの隊員たちが集まりました。昨年度から継続の隊員のほかに、新しい隊員が6名入ってきてくれました。

1回目の活動は14名の隊員が参加し、オリエンテーションと干潟調査を行いました。オリエンテーションでは、自己紹介や調査隊についての説明、ゲームなどをしてコミュニケーションを深めました。今年度、みんながやってみたい活動は、釣り調査が最も多く、続いて干潟調査、スノーケリングなどがあげられました。みんなのやりたい事ができるだけやれるように、考えていきたいと思えます。



「折立海岸はどんな場所??」

・折立海岸は、ネイチャーセンターの目前に広がる海岸で、折立川の河口付近に位置しています。2015年の復旧工事で今の状態の人工干潟になって以降、約30種あまりの生きものが毎年見つかっています。



「どんな調査をしたの？」

・干潟で生きものを見つける「3つのワザ」：①しゃがんで目線を近づける ②石の下や隙間をのぞく ③スコップを使って砂の中の生きものを掘り返す を使って折立海岸の生きもの（種類）をできるだけ多く見つける調査を行いました。

今回の調査では、潮が引ききっていませんでしたが、昨年度と同じくらいのいろいろな生きものが見つかりました。



「南三陸高校自然科学部のみなさんや調査隊 OG といっしょに、調査したよ!!」



「どんな生きものがいたの？」

・今回見つかった種類は、ヒメケハダヒザラガイ、クモリアオガイ、イシダタミ、タマキビ、アオモリムシロ、ヒメイガイ、マガキ、アサリ、スナイソゴカイ、ヒャクメニッポンフサゴカイ、ユビナガホンヤドカリ、イソガニ、ケフサイソガニ、タカノケフサイソガニなど、合計で39種でした！

・このうち、クモリアオガイ、イシダタミ、アサリ、ケフサイソガニは、14人中10人以上が見つけた『優占種（ゆうせんしゅ）～折立海岸に多く住んでいる種～』（発見率が70%以上の種）になります。

・他には、サビシラトリ（準絶滅危惧：宮城県）、ツブカワザンショウ（絶滅危惧Ⅱ類：宮城県）も見つかりました。これらは、絶滅のおそれがある生きものをまとめたリスト（レッドリスト）にのっている種です。

【今後の予定】

☆6月18日（日）海の生きもの釣り調査（船つり）

☆7月23日（日）八幡川の生きもの調査

※詳細は後日お知らせします。是非ご参加ください。

